

躍進

令和2年9月15日

No 6



★中学校生活が折り返し地点です

都立高校を受験する場合、「中学3年生の1学期と2学期」の成績が内申点として使用されます。あと3回の定期考査（2年生の2学期中間考査、2学期末考査、学年末考査）が終了し3年生の1学期になると、いよいよ受験に点数が直接影響する定期考査が控えています。つまり、あと3回の定期考査を終えると高校入試の入口に立つのです。

中学3年生の1学期と言えば、部活動やクラブチームでは一番活躍する時期です。競技や発表で競い合う部活動であれば5月から8月頃に大会があります。部活動の引退までは残り1年を切っています。中学2年生の今の時期に授業や学習を積み重ねることは、自分の競技に集中することにもつながります。

「中学校生活の折り返し地点」というのを別の視点から考えると、中学校の学習の半分が終了するという事は、「高校入試で出題される問題の半分の内容はすでに習っている」ということです。都立高校の過去の問題を解いてみたとき、半分の問題は解けるはずなのです。

中学校生活後半は、新しい学習に取り組みながら、過去の学習内容をもう一度振り返る作業が加わってきます。それが「受験勉強」と呼ばれるものだと思います。

「アリとキリギリス」の童話には蓄えを十分にしたからこそ冬を乗り切れるアリが登場します。童話の話だけではなく、多くの動植物は冬を乗り切るために蓄えたり、備えたりします。進路決定の時期を1年後に控えた中学2年生の皆さんも、「備える」ことが必要な時期を迎えています。

★生徒の作文紹介

2年B組

僕は、中学校生活の半分を終えて色々なことを思いました。

入学したてのころ、僕はクラスになかなかなじめなかったけれど近くの席の子が話しかけてくれてうれしかったです。2年生になった今では割とすぐにクラスになじめました。部活動では初めはもともと仲の良い子と一緒にいようと思ったけど他の1年生の子や先輩みなさんがよく話しかけてくれて勇気ができました。それで陸上部がさらに好きになりました。ぼくはそんなひばり中の陸上部を部活動の中で一番全員が仲良くて、一番みんなが真面目に取り組む部活にしたいと思って副部長をやろうと思いました。残り半分の中学校

生活では、引っ張っていくのは部長やブロック長だけど、部活の中で役職についている5人の中の一人としてミーティングには、しっかり参加し、意見も出して良い部活にしていきたいと思います。クラスの中でもなるべく全員と話せるようにして、あらためてしっかりクラスの一員として完全になじめるようにしたいと思います。

なので僕は中学校生活の残り半分では、部活を頑張りクラスや学年のみんなと仲良くなれるように頑張りたいと思います。そのためにまずはみんなと話せるようにします。

2学期について 2年C組

私はこの夏休みに勉強について焦る事が多くありました。なぜなら夏期講習に行って周りの人たちのレベルを知ったからです。そして今月から塾にも行きはじめて、更に周りの人たちに自分が追い付いていないと感じました。そのため、2学期勉強について頑張りたいことは2つあります。

1つは学校の勉強です。当たり前かもしれませんが、学校の勉強ができていないと受験の時に大変になると思います。特におろそかにしたくないのは復習です。人間は覚えていても忘れてしまう生き物なので、何度も繰り返して解き直しをするのが大切だと思います。だから、なるべく習った日のうちに復習することを目標にしようと思います。

もう1つは受験に向けての勉強です。あと1年半ほどで受験になります。1年半は長いようでとても短いと思います、以前、塾の国語の先生が「漢字を覚えてもそれを応用して覚えなれないといけない」と言っていました。私は確かにそうだなと思いました。それはどの教科でもそうだと思います。基礎だけでなく応用がきくように準備しなければならないと思いました。だから自分から興味をもって詳しく調べることを目標にしようと思います。

私は、この夏を通して2学期に向けて2つの目標ができました。それらを達成できるようにこれからも頑張ります。

★生徒会選挙が行われました

いよいよ学校の中心が2年生へと移ってきます。今後開票が行われます。西東京市から実際の選挙で使われている投票箱と記載台を借りて、実際の選挙のように投票が行われました

